

お帰りなさい 「のぞみの像」
名護小学校に



【名護】戦後を代表する彫刻を残した故・玉那覇正吉さん(1918〜1984年)の作品で、県立博物館・美術館の企画展に合わせて修復された「のぞみの像」が19日、元の設置場所だった名護小学校(仲村一史校長)に戻った。修復に関わった西村貞雄さん(琉大名誉教授)を学校に迎え、披

露式があった。児童を代表して佐藤那南さん(4年)は「戻ってきたうれしい。『のぞみの像』お帰りなさい」と喜びを表



学校に帰ってきた「のぞみの像」を見る児童ら=19日、名護小学校

「のぞみの像」は東京オリンピック(1964年)の聖火ランナーが名護

現。西村さんは「あらためて『のぞみの像』を見てもう一度全身が残るのは一つしかないが、台風で右腕が折れるなど傷んでいた。企画展に合わせて玉那覇さんの教え子の西村さんと彫刻家の富元明雄さんが修復した。

モルタルでできているため、屋外に置くと再び傷む恐れもあることから仲村校長は「ブロンズ像にして原型は博物館などに保管したい。実現へ名護市などに協力をお願いする」と話した。